

常念岳東尾根山行報告

【日時】3月20日（金）-21日（土）

【天候】20日 曇り 21日 晴れ・強風

【行程】前夜泊 道の駅安曇野ほりがねの里

20日 6時30分須砂渡ゲート駐車場－林道を経て東尾根取り付き
－2200m 付近 幕営

21日 5時幕営地－8時前常念岳－9時常念岳頂上－11時幕営地（撤収）
－12時下山開始－15時30分駐車場

【参加メンバー】佐藤健（CL）、小宮山、海保、秋本（記録）

【内容】

天気予報は、頂上付近で 25m/s を超える暴風。同じメンバーで行った先週の仙ノ倉山北尾根に続き、行けるところまでになるかと思いましたが、予報は良い方に外れて、登頂することができました。

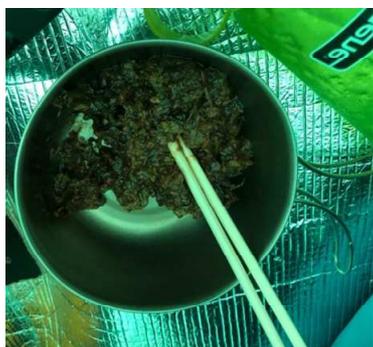


前夜泊の道の駅を出発し、須砂渡ゲートへ。冬季限定のバリエーションルートということですが、人気があり、3台ほど先行の車が停まっていた。先に出発しているかと思いきや、車で待機？していたようで、出発は私たちが最初でした。林道を30分ほど歩いて、登山道に入ります。1600m ぐらいまでは、

バリエーションルートとは思えない立派な登山道（造林作業道だそうです）で、奥多摩ぐらいピンクリボンもついています
が、ずっと急登。それが終わると、次は笹藪漕ぎが始まります。例年であれば、雪に埋もれているのかもしれませんが、今年はほとんど雪なし（帰ってから調べると、程度の差はあるにしても毎年藪漕ぎになるようでした）。藪を抜けると徐々に雪が多くなり、凍結箇所も出てきたところでアイゼン装着。トレースは何日か前のものが薄っすらあるものの、ほぼ自力でラッセル（？）でした。私はあまり役に立てず,,,。幕営地付近で、後続の方達が追いついてきました。駐車場 800m から幕営地 2200m まで 1400m テント泊装備で登るのはしんどかった。



幕営地はふわふわの雪で強風。尾根の南側に幕場を決め、壁をつくり雪に足を取られながらテントを張って中に入るとホッとした。小宮山さん特製鍋。小宮山さんの話から察するに、多忙のため、「冷蔵庫にあるもの鍋」となったようでした。なぜ冷蔵庫にあるものだけでちゃんとした料理が作れるのか。美味しい鍋で温まりました。それと、ふきみそ。先週の仙ノ倉山からの帰り道、長い林道の道すがら収穫したふきのとうを露味噌にしてくださり、炊きたてのご飯にぴったりでした。その間も外はびゅーびゅー風が吹き荒れる音。その後、突然風が止み、星も見えていた。明日はどうなるかなと言いながら就寝。



ふきみそ

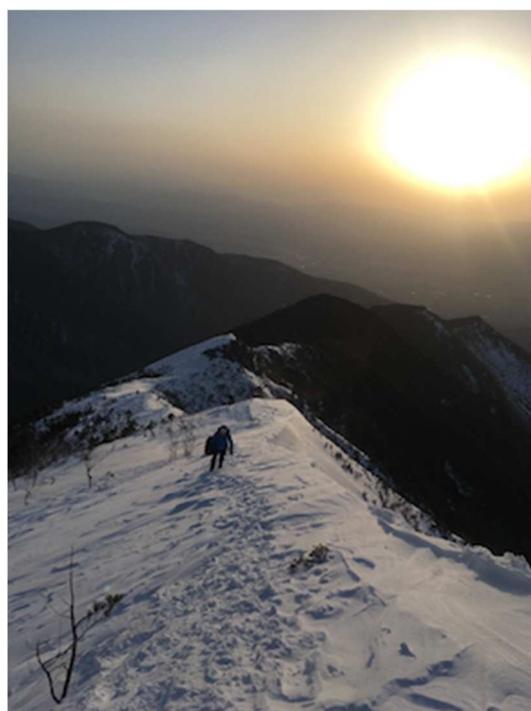


謎鍋

3時起床。風は意外に強くなく、必要な装備だけ持って予定通り5時に出発。樹林帯を出ると、快晴でしたが風は強い（佐藤さんによると、強いときで15~20m/s程度）。朝日もよく見えた。前常念岳までは、少しだけ岩がありました。雪の状態な



のか、大したことはなく、ただ、前日の疲労もあったのか、とても疲れしました。前常念岳からは穂高の絶景。前常念から、風に耐えるふりをしながら（下写真は本当に耐えてる時）休みつつ1時間ほど登り、やっと常念岳につきました。頂上から見える槍・穂高の景色は素晴らしかった。





前常念岳から穂高が見えて歓喜の舞



常念岳への登り

幕営地まで一気に下り、テントの中でお茶を飲んで温まり、下山開始。途中で藪を降りるルートを外れて藪トラバース。最後の意外に長い林道やら、いろいろダメージを受けながらの下山となりました。

登頂は風も強く、体力的にも、とても辛かったです。山頂は疲れが吹き飛ばす絶景と達成感。佐藤さん、みなさん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

